

母校だより

盛大に松浦校長文部
大臣表彰祝賀会開く

松浦勲校長先生の文部大臣
教育者表彰受賞祝賀会が三月
九日、高知市の高知第一ホテ
ルで行われた。

祝賀会には西山利平・振興
会会長、中島暁・同窓会会長
はじめ県、教育関係者、同窓
ら約二五〇人が出席。中内県
知事の祝辞のほか、関係者が
次々と祝辞を述べ、四〇年以
上にわたる松浦先生の功労と
受賞の栄誉をたたえた。

計報

岡村熊長先生（おかむら・

「月刊高校野球マガジン」より

復活に燃える土佐

かつて文武両道の模範とも
いわれ、全力疾走のハツラツ
としたプレーで球場を沸かせ
た土佐高校が低迷している。
甲子園出場春夏合わせて8
回のうち準優勝2回を誇るが、
昭和51年春以来12年間も甲子
園から遠ざかっている。昨年
の秋季、今年の春季と連続し
て初戦敗退。特に、春季大会

くまおさ〓土佐中・高教諭）
が六月十七日午前四時三〇分、
肺腫瘍のため高知医大病院
で亡くなられました。五七歳。

土佐中野球部監督として、
四十四年には県中学野球選手
権大会で十二年ぶりに優勝を
もたらすなど、中学野球の指
導者として活躍された。ご冥
福をお祈り申しあげます。

掲示板

●同期会をしました

▽三〇回Oホーム〓5月21日、
NK高輪クラブ

▽三〇回Kホーム〓5月21日、
土佐

▽三三回〓6月11日、昼の部

では、わずか9人ぎりぎりの部
員で試合に臨むという非常事態
で、県高校野球界をリードしてき
た名門校も伝説と化そうとして
いる。

その土佐に、今春6年ぶりに
2ケタ、13人の新入部員が加わ
った。この中には、中学時代評
価が高かった好投手や即戦力と
して期待される捕手、内野手も
いて、28年目を迎える籠尾監督
もチーム再建に手応えを感じて

グランドスラムCC タの

部 グランドプラザ

▽四一回〓5月21日、土佐へ
来てみよう

▽四二回〓7月4日、赤坂・
ねぼけ

●公演予定

▽北村總一郎氏（29回）出演

「世阿弥」11月5、20日、銀
座セゾン劇場。問合せ〓劇団

「昂」03-944-5451

▽竹邑類氏（35回）演出・振付

「トム・ソーヤー」7月10日

〓8月30日、全国巡演。問合せ〓

せ〓光藍社03-943-7531

「西友ミュージカル 赤いく

つ」8月2、30日、全国巡演。

問合せ〓西友文化事業部03-

989-5289

同窓会本部だより

●同窓会本部（高知）総会〓
8月13日（土）総会4時、懇親
会6時、新阪急ホテル。

関東支部だより

●来年の関東支部新年総会〓
1月21日（土）、東條会館。

講師〓公文俊平氏（28回）

●六三年前半活動報告

▽1月30日〓新年総会（東條

会館）▽2月12日〓新年総会

反省・慰労会（NK高輪クラ

ブ）▽3月25日〓支部長・役

員懇談会（はりやま）▽4月18

日〓宮地貫一支部長、土佐高

の理事に就任▽5月6日〓筆

山編集会議（パレスホテル）

会費納入状況

六三年度の支部年間会費の
納入者は五月末現在で四六二
名となりました。ご協力あり
がとうございます。未納の方
は二〇〇〇円を左記へ。

振替〓東京7-1142816

（土佐中・高同窓会関東支

部事務局

編集後記

◇希望の向陽寮が完成した。
宮地支部長も新たに理事に就
任され、中島・岡村氏と強力
同窓生トリオが理事会に加わ
った。野球部にも復活の兆し
が見られるようだ。最近の試
合では明徳を破ったと聞く。
頑張って学校全体が上昇気流
に乗ってほしい。（A）

◇新年総会の出欠の返事に、
三十歳にもなって独身なので
恥ずかしい、結婚したら出席
します、という男性からの便
り。独身だからこそ「探しに」
おいでと言える同窓会にした
い。

仲間の輪を広げよう。（I）
◇三五回生の竹邑類氏に公演
予定をきくために電話。やは
り三五回生でフラメンコの第
一人者、山崎泰氏と交際があ
るかとはずねると、「彼はよ
く知っているけど、土佐の同
級生なの？ 高知出身なのは
互いに知っていたけど」と絶
句。世の中広い？ 狭い？（K）



筆山

第6号/1988・7

土佐中・高同窓会 関東支部会報

〒112 東京都文京区水道1-10-7 同学社気付 ☎03-816-7011 編集人 / 小松勢津子 (35回)

トボ新年会

「よっしゃ、かあちゃんに土佐蒲鉾の土産ができたちや」

ビンゴゲーム。ミスターNHK尾崎さん(28回)の名司会なしでは始まんちや。



おめでとう、辰年生まれの皆さん。龍馬のように馬力で勝負。



「次の景品はどれやったろうか？」裏方もなかなか大変やね。



「まだ3つしかあいちゃあせん」「わしも、ちっともあかんちや」

曾我部前校長先生の句集『吐雲抄』出版

昭和五十六年に逝去された曾我部清澄前校長先生(一回)の句集『吐雲抄』が、利子夫人の手で出版された。

筑前観世音寺

春の日をくらき御堂の仏達
ふる里は人のこころと春の風
病院の北窓越しに春の空

など、誠実なお人柄がしのばれる百余りの句が収録されている。

▼連絡先 神奈川県平塚市浅間町3-16 チュリス平塚402 曾我部 利子

出版レーダー

▽公文 俊平氏(二八回)
監訳『ハードランディング 作戦』講談社・定価一四〇〇円

①千原 望	33回	155	G
②杉村武秀	30回	124	H
③宮川洋治	33回	141	N
④秋山邦雄	25回	131	
		13.5	
		27	
		10.5	
		48	
		113.5	
		107	

▽尾池 和夫氏(三四回)

『インドネシアの旅——ジャワとバリ火山を訪ねて』産業図書・定価一、二〇〇円

▽合田佐和子氏(三四回)

『ナイルのほとり』朝日新聞社・定価一、二〇〇円
▽塩田 潮氏(四〇回)

『実録竹下登』講談社・定価一、二〇〇円

『獅子奮迅——萩原吉太郎とその時代』ビッグ・エー・定価一、二〇〇円

●第14回筆山会ゴルフ・コンペ

5月28日、千葉・かずさCで北岡会長、宮地支部長をはじめ21名が参加して、時々雨の降る中を1.5Rで行われ、千原望氏が優勝した。

土佐高の思い出①

—廃材から古釘を取って居られた大嶋校長—

元土佐高教諭 吉田富士子

昭和二十四年四月から二六年三月まで土佐中・高校に在職して居りましたが、この度の『筆山』に何か書くようにとのことで、約四十年昔のことを思い出してみることにしました。

大嶋校長先生の時代です。中年の女の国語の先生を探して居られるとのこと、私は満洲からの引揚者でしたが、御目にかかってお話がつき、ご縁ができたわけでした。担任は一年D組、かわいらしい少年少女の一群でした。終戦まで教職を離れ、家事・育児を専門にし

ていた十年間のブランクはありましたが、覚悟を新にしてこの優秀な卵たちに挑戦することにしました。この一年生の他に中二、中三の三学年の国語の授業をすることになりました。

ハイジ、キュリー夫人、その頃特に取り上げられた教養についてなど、また戦前に引きつづき漱石・鷗外の作品などが教科書にのっていました。この三学年が二八・二九・三〇回生に当たります。

現校長松浦先生をはじめ、小松先生、公文先生、岩井先生、鎮西先生、正岡先生、池

田先生等。まだ皆さんお若くていらした時代で、旧い校舎の職員室で机を並べて頂いて居りました。校舎改築事業以前のことですから、窓ガラスもなく油紙が貼ってあり、冬はやはり寒かった。大嶋先生は校庭で廃材から古釘を抜き取って居られました。古釘を踏み抜いて板切れをつけたまま医務室に手当てを受けて行く子などいたものです。皆よく勉強していました。朝礼の時中山先生が新交際ルールを徹底させようと、「車は左人は右」と大声で歌って居られました。岩井先生の「スタンプ」もなつかしく思い出します。

Y&Yの'88土佐

かつての白線ボーイも、かわいらしい後輩との記念写真に、鼻の下がのびちゅうや。

「おんしゃ生きちよったかよ」「おまん子供できたかえ」新パパ世代の会話。



若さが光ってるね。「ヤングいごっそう&はちき〜んず」



「役得、役得。幹事やき美女に囲まれちゅうがぜえ、羨ましいろ」



そして後半は待ちに待った大懇親会。久しぶりに先輩、同期、後輩が集まり、「なつかしいのう。おんしゃあまあ一杯やりや」「あんた今どうしゅうがぜえ」などと、ビンゴゲームを皮切りに盛り上がった宴を、55回コンビのY&Yがレポートしました。



『土佐高新人類の研究』が書けるやないろうか。京都から来られた大宅賞の野田正彰さん(37回)と。

※レポーターは、55回大原由紀と金沢由里でした。また、次回お会いしましょうネ。

個室でエアコン付 土佐中・高「向陽寮」が完成



鉄筋3階建て。「向陽寮」の外観

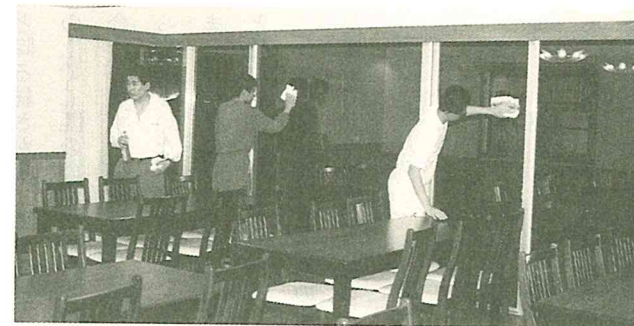
土佐中・高の男子寮「向陽寮」が完成した。外観は赤茶色のレンガ調。モダンなアーチ型の屋根とあいまって、ホテル感覚のリッチな気分がふれる寮となっている。

寮には新学期から中・高生四十四人が入居した。全室六畳の個室、エアコン付という好条件。寮生たちの反応は「個室で勉強がしやすい」「規則が思ったほどのさくさくない」「集団生活の大切さがわかる」など好評。

ただ育ち盛りの年齢だけに夕食のボリュウムは今ひとつ物足りないらしく「おかずをもっとふやして」の声も。また冷蔵庫の設置を望む声も強い。クラブ活動をしている生徒からは「門限が早すぎて、

◇向陽寮メモ◇
▽所在地 高知市百石町二丁目
▽建物 鉄筋コンクリート三階建
▽舎監の先生 岡部淳之助先生
(23回)▽一月の寮費 五万五千円
▽総工費 二億五千万円
▽収容人員 六〇人

食堂。掃除は夜やります。



練習後に友人とつきあうヒマがない(中3・サッカー部)などの意見も出ている。戦火で焼失し昭和二十四年廃寮となった旧向陽寮を知るOBの一人は「当時は十二畳に四人ほどが相部屋でした。それと比べると隔世の感があります」と新向陽寮の完成を喜んでいる。

©1940 Loew's Inc. 1987 MGM

どうぞよろしく/
《四銀》の強力コンビです。

ゆたかなくらしのパートナー……

東京支店/千代田区内神田1-13-7
(電)03-291-3411
本店/高知市南はりまや町1-1-1

四国銀行

有利で便利な
期日指定定期みつば
●1年複利で高利回り/●1年間の満期後は期日自由/

ムリなく貯まる
自動積立定期ふゆみ
●1回ごとのお預け入れを「みつば」でお積み立て/

東大投手として17勝の記録を保持

コンクリート工 本四架橋にも関与
学の権威として

東大工学部教授 岡村 甫氏 (32回)

INTERVIEW

⑤



現在のご研究は？

「土木工学という、社会基盤の整備をする学問です。その中でも専門はコンクリート工学という分野で、コンクリート構造物を設計する体系を作りあげて普及させるのを中心にして過去二十年やってきて、それがようやく実りつつあるという状況です」

——本四架橋とのご関係は？

「本四架橋のメインの構造物は吊り橋で、これはスチールでできていて、コンクリートとはあまり関係がありません。ところが、タワの海中にある基礎は巨大なコンクリート構造物で、大きいのは数十メートル真っ角なんです。また短い橋はコンクリート橋が多いですから、それらの設計には関与してきました」

——東大の投手として十七勝の記録をお持ちですが、土佐中時代から投手を？

「いえ、土佐中時代は一年から三年の春の大会まで二塁の補欠だったのです(笑い)。しかし、クラスマッチなんかでは投手をして、必ず勝ってたんです。で、三年の春の大会の後のレギュラーと補欠の

紅白試合で、補欠チームの投手としてレギュラーを抑えたのがきっかけで、投手になりました。以後六十ニングぐらい無失点だったのですが、エースは上田投手でした。ところが、夏の大会の時に彼がけがをして、私が全試合投げ、無失点で優勝したのです。それでも背番号10というのは変わらなかったですね(笑い)」

——高校ではエースですか。 「いえ、高校では、初め野球をやりました。高一の頃は身長一六〇センチ弱に体重も五〇キロくらいしかなくて、溝淵監督の練習についていけない自信がなかったのです。そしたら、高三になって身長一六八センチに体重五八キロくらいになり、監督や大嶋校長の熱心なお勧めもあって、春からまたやりはじめたのです」

——ほぼ二年間のブランクですが。 「ええ。以後、何試合か投げたのですが、一試合一点ぐらいしかとれませんでした」

——頭でお投げになる？ 「よくわからないのですが、なんとなく相手が打たないんですね。相手が球を予測して

打ってくるタイプだと、完全に逆をつけるんです。言い換えると、いい打者にはほとんど打たれない」

——甲子園の予選は？

「県予選の準決勝で高知商業に敗れました。私自身は無失点だったのですが、全試合。ただ、一人で投げるには体力がなかったんですね。これに勝てば甲子園は保証すると監督がおっしゃった高知商業戦に負けて、突然目標がなくなってしまう、それで、甲子園に出場し、一浪して大学へ、という計画を、現役で大学へに切りかえたのです」

——東大でエースになられたのは？

「二年の春のリーグ戦の六試合目にリリーフで初勝利をあげ、そのシーズンに三勝してからです」

——十七勝されていますね。

「ええ、結局、われわれは常に強い相手と試合しなければならぬから、勝つチャンスがある時に勝ち切ることが大事なんです。勝つチャンスがある時に勝ち切れたのは、中学では一度も負けていないということがどこかにインプットされていたんじゃないか

と思います。それから、常に自分のピッチングに不満があるの、打たれる前に早目早目に新しいものを加えていったのがよかったんですね」

——前後二回、東大の監督をされていますが。

「最初は博士過程の一二年の時だったのですが、この時は非常に未熟で、チームの力をうまく引き出せなかったですね。その後十年ほどおいて、また二年間やりましたが、今度は選手の力をフルに発揮させることができたと思います。二年目には七勝あげることができました。後輩では、主将を務めた浜田君(58回)に続いて、今年、藤沢君(61回)が入学しました。頑張ってもらいたいですね」

——土佐高の理事会の顧問でいらつしやいますが、母校へのご注文は？

「私は教育というのはそれにかかわる人の資質や向上心ややる気がすべてだから、それをいかに高めていくかがいちばん大事だと思うんですね。私どもの東大土木工学科はそれに非常に留意して成功していますが、土佐高の教員もぜひそうあってほしいですね」

思い出の先生がた③

中山駿馬 先生

(昭和42年
逝去)



父とオンカンと

中山先生次女・三〇回

山岸 雅恵

十畳ほどの洋間の書斎に通された客は、棚やガラスケースに並んだ貝殻を、いやでも目にするようになった。

そこで平然として用件に入

れば良いのだが、ついうっかり興味を示そうものなら、父の貝攻めに合うことになる。

頭の上から足許から、貝の詰まった標本箱が次々に繰り出される。

まだある。

まだある。

もう沢山だ。助けてくれ。その夜はカタツムリに襲われる夢をみて、うなされたことであろう。

父はほとんどこの書斎にこもっていた。家族にとつてそ

こはわが家の聖域であり、父が居ない時でも立ち入るのを憚っていた。

子供たちから見た父親は常に苦虫を噛みつぶした顔をしており、黒縁眼鏡の奥から大

きな目玉でにらみつけられると、それだけで震え上がるくらい怖かった。直接声をかけられる場合は、叱られるか

を言いつけられるかだったの

で、父の在宅中は声をひそめ、足音をしのばせて隠れるようにしていたものだ。

このように父が私達を寄せ

う一人の父に出会った。

彼は三本の指で大学ノート

の角をつまみあげるように持ち、軽やかな足どりで教壇に

現われた。お辞儀をして頭を

あげたら、そこにはかつて見たことのない父の笑顔があった。

授業は終始面白かった。私は級友と共に、たわいなく彼のペースにのせられて笑い入

りながら、こう考えていた。

無愛想で恐ろしい素顔をむき出しにして教壇に立ったのでは、生徒の方がやりきれまいとの配慮から、精いっぱい演技をしているのだと。

しかし、第一印象は次第にぐらついてくる。

身振り手振りを交え、時おり、目の底に茶目つ気をチラつかせ、彼は嬉々として喋った。

「脾臓は左にひとつある。

ヒビヒビ」とか、「暑から

ず寒から五月雨のしとしとと降る昼さがり、とある土曜の上で二匹のカタツムリが相合うのです」と始めて、「うらやましいな、ああうらやましい。『私は貝になりたい』と結ぶ恋矢の話などを。

ひょっとしたらこつちの方が地で、家では威厳のあった土族の祖父を倣っているのでは、と思うこともあった。

路上で偶然、一対一で出会ったことがある。父は学校からの帰途で、私は制服を普段着に着がえて、夕食の材料を買いに出たところだった。

てくれたのである。

家から百メートルしか離れていなくても、まだ門の外だったから彼はオンカンなのであった。

父は早くから二重人格であることを自覚していたようである。あるときはライオンの

如く恐ろしく、あるときはカンガルーのようにやさしい。だからライオンの「オン」と

カンガルーの「カン」を取って「オンカン」である——と

自分で付けたアダナを、勤務したすべての学校で吹聴し、ついに一度もそれ以外のアダナで呼ばれたことはなかった。

高校で学んだことに助けられ

文学関係の本を編集集中



筑摩書房編集部

岩川 哲司 (四四回)

夏の終わりの午後だった。漢文の授業が半ばをすぎたころ、ノートに漫画を描いている生徒がいた。翳がよぎったのを感じてその男がふと顔を上げると、すぐ背中に先生が立っておられた。先生は、いつもの穏やかな様子で、「ここは少しおかしいぞ。こうしたほうがいい」と、画の不自然な線を静かに指で示された。教室の気配の変化に、居眠り常習犯だった二、三人の生徒が目覚めた。当の生徒は、ごくわずかな時間のうちに経験したにちがいない絶望的な驚きと安堵との揺れの大きさに、さすがに声もややかすれ気味であったが、「あ、ありがとうございます」と、率直にお礼を述べて、照れくさそうにペコリと頭を下げた。やや離れた机に座っていた私には、同時に、生命の息吹きが熱く

何があつたのかその時はまったく分からなかった。ベルが鳴り、先生が退室されたあと、その男の席のまわりになごやかなどよめきが起こつてから出来事の始終を知った。ほんとうにそれは完璧な静けさのうちに過ぎてしまったことだったために、一層長く心に残るものとなった。居合道の達人でもあられた政岡師がその先生だが、篤実なお人柄が、午後のすみわたる白い光の印象とともにさわやかに偲ばれる。

この『筆山』の思い出の中の「先生方」の欄で、かつてあんなにも豊かな個性をもつて教壇に立たれた先生方のポルトレを読まれた方は、哀傷の感を抱いてご冥福を祈られると同時に、生命の息吹きが熱く

波打つのを、あらためてお感存じ上げているが、土居先生にはならなかっただろうか。授業中にはご自身の真剣さゆえに厳しい表情をされることも多かったカマスこと吉本先生、紳士的な優しさのうちに威厳を備えた廣田先生、鏝のきいたお声で朗々と語られた片岡先生にしても、正面を発止と見据えるかのように迫力ある表情で授業をされていた記憶があるが、いまあざやかに浮かんでくるのは、三人の先生方のこの上なく晴れやかな笑顔ばかりなのだ。時間が余分なものを取り去って、ほんとうの相を開示したのであろうか。土佐高を愛し、生徒たちを深く信頼し、そこに

現実の生を生きておられた先生方であつたからこそ、時折りこぼれる笑顔があんなにも晴朗だったことに思い至る。時を隔ててなお輝きを失わないう真正なるものを忘れずにいなければならぬと思う。

今、こんなことをしています

風の便りにますますお若いご様子をお聞きしてうれしく

現代フランス屈指の知識人M・パンゲ氏が、日本文学に描かれた「自死」を、古事記から三島に至る文学テクストによって跡づける大著だが、雄渾華麗な仏語を、竹内先生は、躍動感あふれる見事な日本語に再創造して下さった。ある批評家は「翻訳史上最高の名訳」と断言している。

同じ著者によるエッセー集『テクストとしての日本』を編集しているさ中、昨年一月に、突然最愛の妻が幼い子二人を残して逝った。絶え間なく襲ってくる胸を抉られるような悲しみを救ってくれたのは、一つには慰藉にみちたパング氏の文章だった。

透明なテクストの至るところにちりばめられている優しくも熱い友愛——それは、どこからともなくやってきてはどこへともなく消えてゆく存在に、人生がその耐え難い日々をわびるのかのように時折りそつとさし出してくれるたまゆらの微笑であるかのように思われた。

④

ように時折りそ

高知からの報告

いま母校は攻めの姿勢で前進を

高知新聞編集局社会部副部長

39回 宮内 巖

「土佐高どうした!?」ここ数年、そんな声がしきりに聞こえてくる。学芸に負けた、いや、学芸も土佐もだめ、県外だ、愛光(愛媛)だ、の大合唱。関東支部でも少なからず論議を呼んでいると聞くと、さて土佐高は本当にどうかしたのか、高知からの報告を。 「どうした」の声はまず進学数。昔のように一流大へぶつちぎりで進学しているようにないぞ、という指摘だ。その象徴の東大合格者が一昨年、土佐9、学芸10と初めて逆転した。昨年は土佐11、学芸9、追手前1、今年は土佐7、学芸3、追手前2とトップは取り戻したが「往年の土佐高はこんなものじゃなかった」の声が上がる。

もちろん東大だけが物差し

なくない。

と言って、これは無論学校の外側からの見方で、母校としては「そんなことはない。進学もその他も十分成果を挙げている。俺達の時代は……と言われても……」というところだろう。しかし、事実はそう

であろうと今の土佐高を世間はおおむねそういう風に「これは「土佐高が頑張らねば高知の教育はない」との期待と励ましをこめて見ているのである。

さらに世間の目はもっとシビアだ。いわく教師の質、能力が落ちた、学校経営が消極的、社会性がない、等々。

まあ、こうなると全く外野席の気楽な言い放題というところにもなろうか。ただ、今土佐高が世間の指摘の通り低迷しているとしたら、その最も大きな原因は取り巻く情勢、外因にあるのではと、私は考えている。

高知の教育は今猛烈な塾主導で動いている。小学4年生ごろから塾通いが始まり、少し出来の良い子供たちのほと

んどが有名私立進学を人生のすべての目的であるかのような勢いで勉強する。親は輪をかけて熱中する。

その挙句めでたく目標中学に合格しても疲れ果て、また、人生の目標を達成したような気分、そこが実は出発点であることを忘れてしまう。そんなことが少しも珍しいことではなくなっている。

一方、受験生親子に占める塾の存在は考える以上に大きい。塾の言うことがすべて、とほとんどの親子が考える。塾が土佐と言えど土佐、学芸と言えど学芸……という具合。

土佐も学芸もだめ、県外だ、という論も多分にこの塾主導によつて増幅されたといつてよいだろう。土佐が落ちたと世間が漠然と思うのも実は同じところからきているのかも知れない。純粹の進学指導のほかに塾には塾の事情があつて、その事情が働くことも考えられないことではない。

寂しいことだが高知の教育は塾に動かされている。とすれば、その現実を踏ま

えて土佐はどう対処すればいいのか。

土佐が土佐たる主体性を回復する第一手は面接入学の復活でないかと思っている。何割か定員を留保しておいて、塾で鍛えられたペーパーテスト横綱より磨けば光る素材を面接だけで採りたい。開校当時の人材主義に返りたい。

私高公低などいろいろの指摘もあるが、土佐高が先陣を切ることによつて、高知の学力、教育もまた向上するのだと考える向きも少なくない。そんな地域の期待に応える、そういう学校経営もまた重要だと思ふ。

取り巻く情勢の中でもまれざるを得ない中で「土佐」が主体性を持って、伝統ある校風をさらに活かし前進するために、母校には攻めの姿勢を求めたい。

冠する「土佐」の名にかなえ、そんな願いを込めて同窓諸兄の母校へのバックアップをお願いしつつ高知からの報告を閉じさせて頂く。

特集

新年総会に初めて出席して

卒業後数年、いや十数年…初めてでかけた新年総会。八人にその感想を綴っていただきました。一部看板に偽りがあってゴメンナサイ。

一八回

武市 樞夫



チエツコのカ
ルル・チャペッ
クが「絵や写真

ろしくも懐しい多くの先輩の
聲に接した。土佐中はまこ
とに偉大な個性が割拠して、
実にいい所だったなあ、と少
年に返った私は胸が震えた。

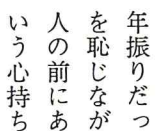
三五回Hホーム

伊野部彦慧



同窓会に出席
したのは、数え
てみると二十八

で幼い頃からなじんでいる外
国の古跡に現地での目撃接
した時の驚きは肝が潰れる程
である」と述べている。諸先
輩を古跡巡りする積りは
ないが、土佐中・高新年総会
で畠中達夫さんにお目にかか
った折は、これが現実の事か
と思わず目に唾を塗った。樋
口先生方からその秀才振りを
幼い頃に叩き込まれて神格し、
私と同じ地表を歩く人と思っ
ていなかったからだ。宇田郎
の前を颯爽と登校する伴衛さ
んにも会った。いや、次から
次へと卒業以来初めての、恐



同窓会に出席
したのは、数え
てみると二十八



昨夏、久々に
高知へ行き、十
数年ぶりに見た

福富 廉

と、筆山の麓で過ごした多感
で若かった日々のひとこまひ
とこまが、まさに夢、幻の如
くであった。
日常の巷塵の濁悪をひとと
き離れて、遥かな青春に廻飛
する……。これが私の初めて
の同窓会であった。

し、普段は会うことのない同
級生等に会い、なつかしく思
うと同時に、段々稀薄になっ
てきた土佐高という意識が蘇
るのをうれしく思いました。
ここ数年行っていない為、
冬になると思わず口ずさんで
しまう「スキー」の曲が、実
は大先輩である平井先生の手
によるものであったとは、全
く知りませんでした。

一番にリーチしながら、最
後まで上がれなかったビンゴ
ゲーム、次は当てて「向陽の
空」を歌いたく思います。

五二回Tホーム

中内 真奈



夫婦そろって
(夫は同じ52回
Tホームの中内

最初は眩しかった旧友の笑
顔も、お国ことばで話始め
ると、すぐに昔の面影となに
がわず重なった。深夜帰途の
車の中、この日会ったひとり
ひとりを、いささか酔眼のそ
の裏でもう一度なぞってみる

も変わっており、大変驚きま
した。このように、今は実家
が高知にない私にとって、同
窓会を始めとして、高校関係
の行事に参加することは、ほ
んどありませんでした。
今回、初めてこの会に出席

憲二 土佐中・高の同窓生と

いう私たち、子供を母に預け
久々の外出とあって、ルンル
ン出かけた新年総会。
会場に着くなり耳に飛び込
んできたのは、懐しい土佐弁
！。家庭のなかでは土佐弁を
使っているとはいえ、外で、
それも東京で耳にするのはま
たいいいですね。卒業以来初め
ての総会出席でしたが、これ
だけでもう、今日は来て良か
ったと思いました。
また、何年ぶりに会う同
期生や後輩たちを見て、改め
て自分の歳を感じてしまった
総会でもありました。
年齢も職業も様々な人々の
集まりなのに、同窓生という
だけで何だか親しみが湧き、
初対面のおじ様達とも気軽に
言葉をかわせるなんて、同窓
会って不思議な所ですね。来
年も参加できるといいな……。

五五回Oホーム

赤崎 達志

期待と不安が入り交じつ
た複雑な気持ちで会場まで足



を運んだのです
が、受付で働い
ている二人の同

大学三年の末になって初めて、
土佐高OB会東京支部なるも
のが発足していることを知り
ました。期待と一抹の不安の
交錯する中、私は半蔵門の東
條会館まで足を運んだのです。



同級生や後輩、
松浦校長の姿を
見かけたとなん

級生を見たとなんうれしくな
ってしまいました。それもそ
のはずで、五五回生の学年幹
事は知る人ぞ知る美人コンビ
なのであります。幹事の仕事
が忙しかったためにほんの僅
かな時間しか相手していただ
けませんでした。美しくな
った同級生にお酌してもらえ
てとても光栄でした。さらに
帰り際には、彼女がビンゴで
当てたボカリスウェットまで
いただいて、竜宮城へ行った
浦島太郎のような幸せな気分
で家路につきました。これを
読んでいる五五回生の方々お
よび先輩、後輩の皆様、来年
は是非新年総会に参加して、
彼女たちにお酌をしてもらい
ましょう。とてもナイスな気
分になれますよ。

「参加することに意義があ
る」とよくいいますが、その
参加することを得ることは非
常に多大であると私は思いま
す。これからは是非、OB会
には参加させていただきたい
と思います。

生の幹事である
友達から同窓会
の受付を手伝っ
てほしいと頼まれ、私は軽い
気持ちで引き受けた。
実際受付の手伝いといつて
も、私達はほとんど役に立た
なかつたような気がするが、
裏方で働いている人々の苦勞
を少しは感じることができ
て、良かったのではないかと
思う。

同窓会では同年代の人ばか
りでなく、とても幅広くいろ
いろな人と知り合うことがで
きる。私は去年の同窓会にも
参加したが、その時に親しく
お話をさせて頂いた方々が一
年ぶりだというのに覚えてい
て、私達の近況など気づかっ
て下さったりしてとてもうれ
しかった。

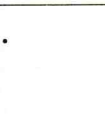
それまでは同じ高校を卒業
したというだけでほとんど無
関係だった人達と、同窓会に
よってこのようなつながりが
でき、思い出に残る一日だっ
た。



友達の幹事である
友達から同窓会
の受付を手伝っ
てほしいと頼まれ、私は軽い
気持ちで引き受けた。



友人のお父さ
んと同級生の方
とか、まだ高校



友達の幹事である
友達から同窓会
の受付を手伝っ
てほしいと頼まれ、私は軽い
気持ちで引き受けた。



友達の幹事である
友達から同窓会
の受付を手伝っ
てほしいと頼まれ、私は軽い
気持ちで引き受けた。

平山 英樹

誠に恐縮なんですが、私は

五九回Kホーム

六一回Tホーム

本越 和代

同窓会の一週間位前に61回

同窓会の一週間位前に61回

同窓会の一週間位前に61回



みんな元気でやりゆうかえ…
たまには寄っていきや

……ふるさとの銀行



高知相互銀行

東京支店 中央区八重洲2-6-21 (電) 03-273-3061